

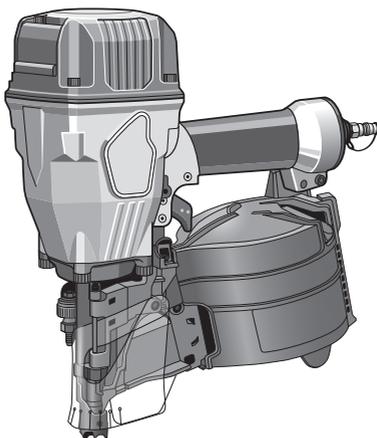
マックス釘打機コイルネイラ

CN-890K

CN-890K-DS

取扱説明書

プロ用



警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。
- 打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 移動する時、使用しない時、調整・修理・ネイル装填の時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。
- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

*便利メモ

お名前		商品名	CN-890K・CN-890K-DS
お買い上げ日	年 月 日	製造番号	
販売店名		☎ ()	-

このたびは、マックス釘打機コイルネイラをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、 **警告**、 **注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。



警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

■絵表示について



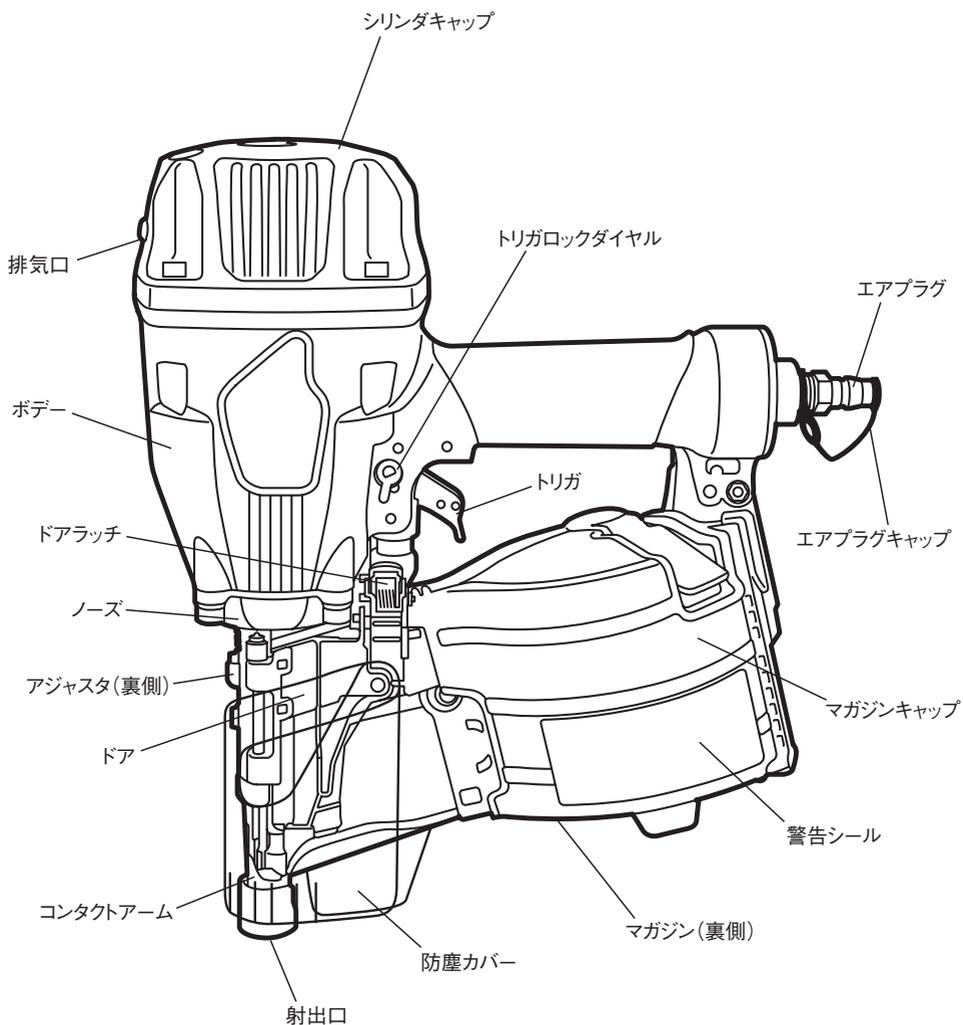
禁止

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

目 次

1. 各部の名称	1
2.  安全作業のために	2
3.  安全装置について	10
4. 仕様及び付属品	12
5. 使用方法	14
6. 配管についての注意	18
7. エアホースの接続	19
8. アジャスタの調整と打込状態の確認	20
9. ネイルづまりの直し方	22
10. 性能を維持するために	23
11. 空打ち時の確認事項	25
12. 保証、アフターサービスについて	25
全国販売拠点、サービス拠点一覧	

1 各部の名称



2 ▲安全作業のために

本機は、木材またはそれに類した材料を木材に止めることを目的とした釘打機です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

▲ 警告

- ①使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

釘打作業をする時、ネイルを連結しているワイヤが飛んだり、打ち損じのネイルがはね返り、眼に入ると失明する恐れがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。



- ②防音保護具を着用する。

釘打作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

②



- ③作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

③



2 ▲安全作業のために

警告

④エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1. ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
3. コンタクトアームがスムーズに動くか。
4. トリガをロック（引けないように固定）できるか。
（11 ページ参照）

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー（株）へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

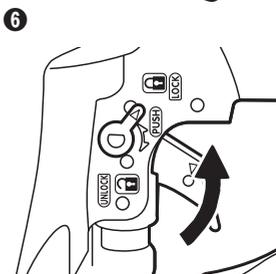
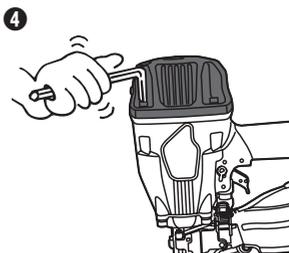
⑤エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。

⑥エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないよう下記のことを必ず守ってください。

1. トリガをロック（引けないよう固定）する。
2. コンタクトアームに触れない。
3. コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
4. 射出口を絶対に人体に向けない。



▲警告

⑦エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはネイルを装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

1. エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
2. エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がする場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

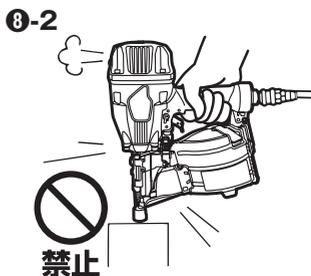
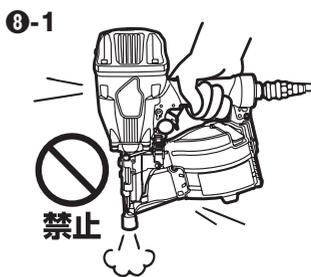
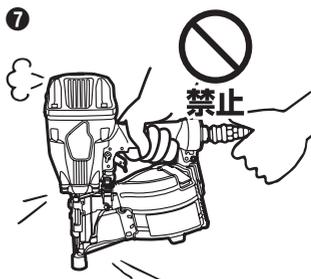
⑧安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ネイルを装填しないでエアホースを接続し、トリガロックダイヤルを UNLOCK(アンロック)にセットして確認してください。(11 ページ参照)

※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

1. トリガを引いただけで、作動音がする。
2. コンタクトアームを対象物に当てただけで、作動音がする。

異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。



2 ▲安全作業のために

！ 警告

⑨防塵カバーは絶対にはずさない。

釘打作業をする時、対象部材が堅すぎたり、本機の打込能力以上ですとネイルを連結しているワイヤが打ち込まれず飛散する場合がありますので、防塵カバーは絶対にはずさないでください。また、傷んだら交換してください。



⑩指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のネイルをご使用ください。(13 ページ参照)



⑪作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。



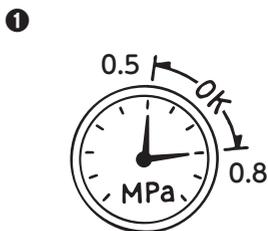
作業中

！ 警告

①使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は 0.5 ～ 0.8MPa (約 5 ～ 8kgf/cm²) です。対象物によりその範囲内で調整し使用してください。0.8MPa (約 8kgf/cm²) を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

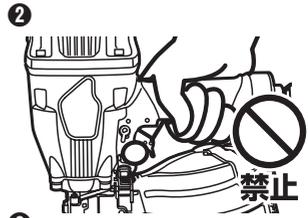
※ DS 仕様への組み替えは、お買い求めの販売店を通じて、マックスエンジニアリング & サービスファクトリー様にご相談ください。



▲警告

②打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

トリガに指をかけたまま本機を取り回し、誤って発射した場合は思いがけない事故につながります。ネイルを打つ時以外は絶対にトリガに指をかけないでください。



③射出口を絶対に人体に向けない。

射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですので、絶対に行わないでください。同時に打ち損じたネイルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。



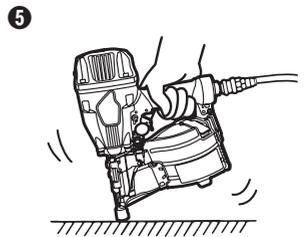
④向い合わせの釘打ちは絶対にしない。

向い合って釘打作業をすると、打ち損じたネイルが前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがありますので、向い合わせの釘打ちは絶対にしないでください。



⑤射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったネイルや木の節などに当たった場合ネイルがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。



⑥発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとネイル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。



2 ▲安全作業のために

！ 警告

- ⑦移動する際は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

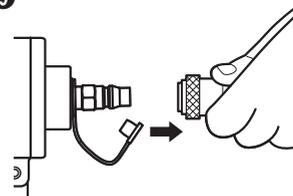
エアホースを接続した状態でトリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。移動する際はトリガをロックし、エアホースをはずしてください。



- ⑧落下やそれに類する衝撃を機械本体に与えた場合、安全装置等が正常に作動する事を確認してから作業を再開する。

- ⑨作業中断時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

作業中のネイル装填、調整及びネイルづまりを直すときは誤ってネイルを発射すると危険ですから、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。



- ⑩異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。



2 ▲安全作業のために

作業後

▲警告

- ①作業終了時には必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

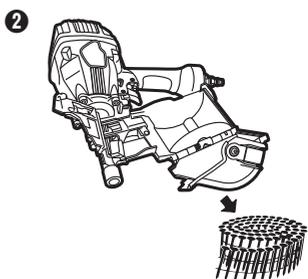
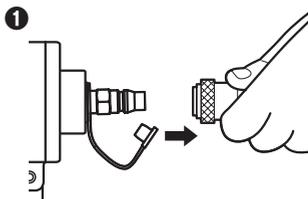
作業終了時には、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

- ②作業終了時には必ずネイルを抜き取る。

ネイルをマガジン内に残しておく、次に使用するとうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながる場合があります。作業終了時には必ずマガジン内のネイルを抜き取ってください。

- ③本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

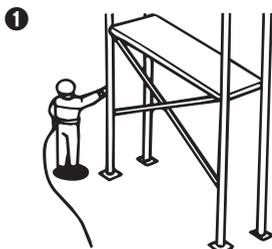


屋外作業について

▲警告

- ①足場の安全性を十分に確認する。

足場を使っての高所作業の場合、釘打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。



2 ▲安全作業のために

警告

②エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれないように注意してください。



③直射日光をさける。

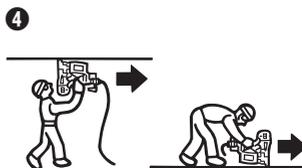
本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。



打ち方

④水平面の釘打ち

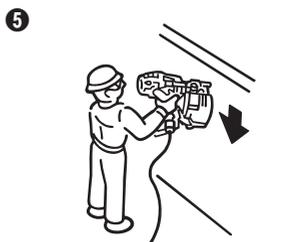
前進姿勢で釘打作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しなからの作業は足をとられるなど危険です。



⑤垂直面の釘打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へ釘打作業を行ってください。疲労の少ない作業ができます。

※内、外壁の同時打ちは絶対にしないでください。



⑥傾斜面の釘打ち

下から上に向かって前進姿勢で釘打作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。



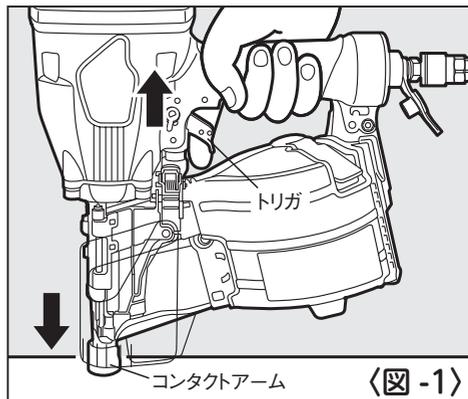
3 ▲安全装置について

釘打作業の安全を確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

●メカニカル安全装置

これはコンタクトアームとトリガが同時に作動しないと発射しないメカニズムです。つまりトリガを引いただけではネイルは発射せず、また、コンタクトアームを打込対象物に当てただけでもネイルは発射しません。コンタクトアームを対象物に当てる動作とトリガを引くという動作が重なってはじめてネイルは発射されます。

〈図-1〉



▲警告

- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ネイルを装填しないでエアホースを接続し、トリガロックダイヤルを UNLOCK (アンロック) にセットして確認してください。

- ※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

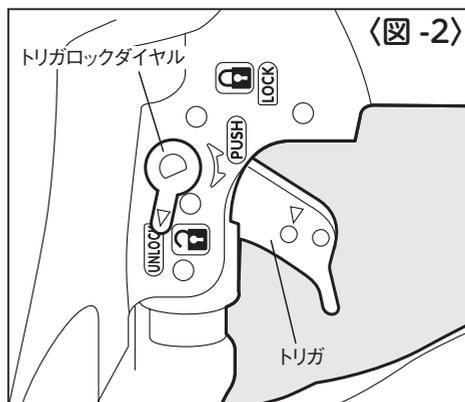
1. トリガを引いただけで、作動音がする。
2. コンタクトアームを打込対象物に当てただけで、作動音がする。

異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

3 ⚠️ 安全装置について

●トリガロック装置

本機にはより安全に作業していただくためにトリガロック装置を標準装備しています。トリガロック装置とは、作業しないときに本機の使用者の意志によってトリガをロック（引けないように固定）することにより作動できないようにすることができる装置です。 <図-2>



釘打作業を行う際はトリガロックダイヤルを押し回し、UNLOCK（アンロック）の位置にセットしてから作業を開始してください。

ネイルを打っているとき以外はトリガロックダイヤルを押し回し、LOCK（ロック）の位置にセットしエアホースをはずしてください。作業を始める場合はトリガロックダイヤルを押し回し UNLOCK（アンロック）の位置にセットしてください。

4 仕様及び付属品

商 品 名	マックス釘打機コイルネイラ	
商 品 記 号	CN-890K	CN-890K-DS
バルブ機構	ヘッドバルブ方式	
ネイル送り機構	フィードピストンバネ送り方式	
マガジン形式	マガジンキャップ開閉方式	
寸 法	(H) 345 × (W) 129 × (L) 350 mm	
質 量	3.6 kg	
ネイル装填数	150本、200本、250本、300本	
使用空気圧範囲	0.5～0.8MPa (約5～8kgf/cm ²)	
使用エアホース	内径8.5mm以上、長さ30m以内	
使用オイル	タービン油2種 ISO VG32 (JIS K 2213)	
安 全 装 置	メカニカル方式、トリガロック装置	
付 属 品	保護メガネ、ジェットオイラ (油入)、コンタクトトップ	

⚠ 注意

- 打込対象物が硬い場合や使用空気圧が低いと適正な打込み状態を得られない場合 (釘浮き等) があります。

〈使用ネイル〉

木下地用ワイヤ連結ネイル			
足長さ	分類	商品名	頭径
50mm	鉄スムース	FC50V5	6.0
		FC50V8(N50)	6.6
		FC50V9(CN50)	6.8
	メッキスムース	FC50V9メッキ(CNZ50)	6.8
	鉄スクリュ	FS50V5-C	6.0
		FS50V9-C	7.0
57mm	鉄スムース	FC57V5	6.0
	鉄スクリュ	FS57V5-C	6.0
		FS57V9-C	7.0
65mm	鉄スムース	FC65V5	6.0
		FC65V9	7.0
		FC65W1(N65)	7.3
		FC65W3(CN65)	7.1
	メッキスムース	FC65W3メッキ(CNZ65)	7.1
	鉄スクリュ	FS65V5-C	6.0
		FS65V9-C	7.0
75mm	鉄スムース	FC75W1	7.0
		FC75W4(N75)	7.5
		FC75W8-WP(CN75)	7.9
		FC75W8-WPメッキ(CNZ75)	7.9
	鉄スクリュ	FS75W1-C	7.0
90mm	鉄スムース	FC90W1	7.3
		FC90W8-WP(2×4)	7.9
		FC90W8-WPメッキ(2×4)	7.9
	鉄スクリュ	FS90W1	7.3
		FS90W1-C	7.3

⚠ 警告

●指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のネイルをご使用ください。

5 使用方法

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

【ネイルの装填方法】

⚠ 警告

- ネイルを装填するときは、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

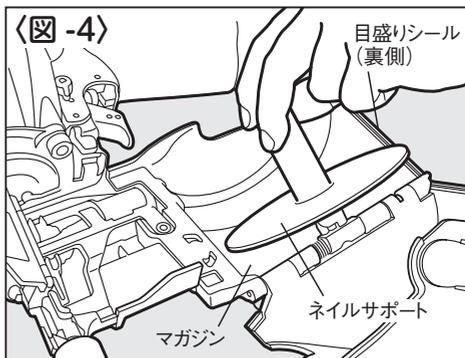
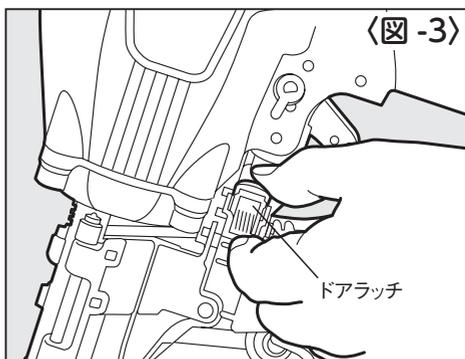
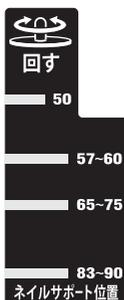
手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②ドアラッチをつまんでドアを開きます。

〈図-3〉

- ③使用するネイルの長さに合わせてネイルサポートの高さを調整してください。ネイルサポートを指で回すと上下に動きまでするので、マガジン底部の目盛りシールを見て調整してください。

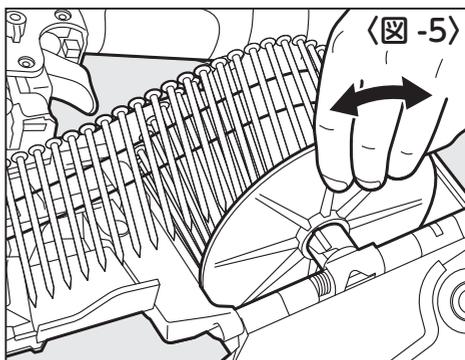
〈図-4〉



※ネイルサポートの調整はネイルをマガジンに入れた後でも可能です。 〈図-5〉

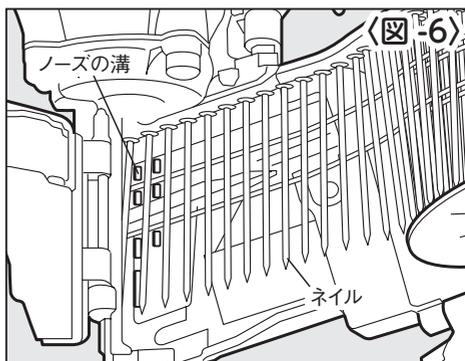
⚠ 注意

- 使用するネイルの長さに合わせて、必ず適正位置にネイルサポートをセットしてください。不適性な位置で使用するとネイルの送り不良が発生します。



- ④ ネイルをマガジンに入れ、ネイルの頭部がノーズの溝に入るようにネイルを引き出します。

〈図-6〉

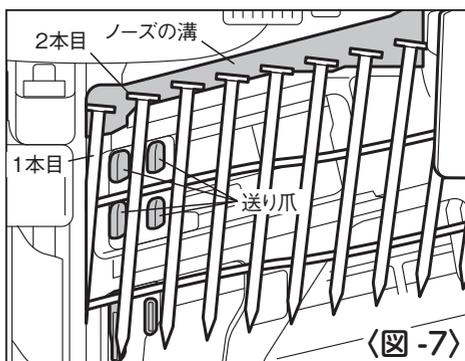


- ⑤ 1本目のネイルを送り爪の左、2本目のネイルを送り爪の間にセットします。

〈図-7〉

⚠ 注意

- ネイルが正しい位置にセットされていないと、ネイルを打ち損じる恐れがあります。

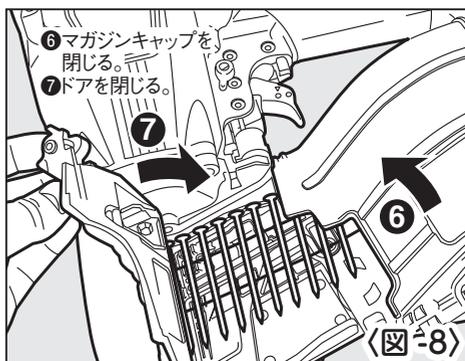


- ⑥ マガジンキャップを閉じます。
⑦ ドアラッチをつまみながらドアを完全に閉じます。

〈図-8〉

⚠ 注意

- ドアラッチが確実にかかっているか確認してください。不完全な状態だとドアが開く恐れがあります。



【打ち方】 CN-890K の場合

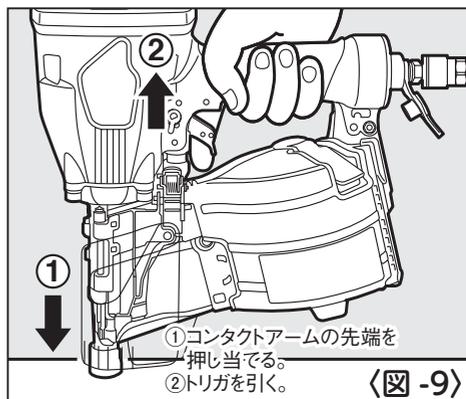
本機は釘打作業の内容によって効果的な使い方ができるよう「単発打ち」と「連続打ち」切換えが打ち方で使い分けできる機構を有しています。

単発打ちの操作方法

単発打ちとは、コンタクトアーム先端を打込対象物に押し当ててからトリガを引く操作でネイルを1本しか打たない打ち方です。主に斜め打ちやネイル頭を面いちに合わせたり、仕上げを重視する釘打作業に適しています。

手順

- ① トリガロックダイヤルを押し回し、UNLOCK（アンロック）の位置にセットします。
 - ② ネイルを打とうとする箇所にコンタクトアーム先端をしっかりと押し当ててからトリガを完全に引いてください。〈図-9〉
- ※単発打ちでトリガを引いたまま、再度コンタクトアームを打込対象物に当ててもネイルは発射されません。

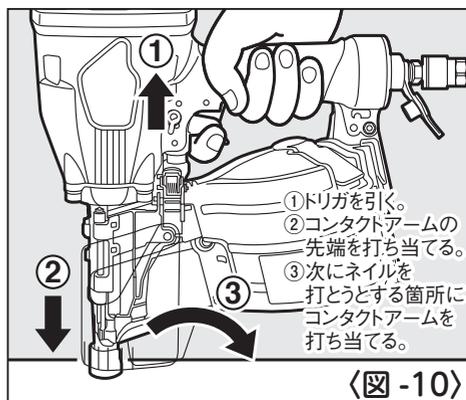


連続打ちの操作方法

連続打ちとは、トリガを引いたまま打込対象物にコンタクトアーム先端を打ち当てる操作をくり返すことで連続的に釘打作業ができる打ち方です。主に床・壁・屋根などの下地打ちのときに適しています。

手順

- ① トリガロックダイヤルを押し回し、UNLOCK（アンロック）の位置にセットします。
- ② トリガを引いたままネイルを打とうとする箇所にコンタクトアーム先端を打ち当てるとネイルが発射されます。〈図-10〉



- ③ トリガを引いたまま、再度コンタクトアーム先端を対象物に当てるとネイルが発射されますので、トリガを引いたまま②の操作を繰り返すことで連続的に釘打作業ができます。

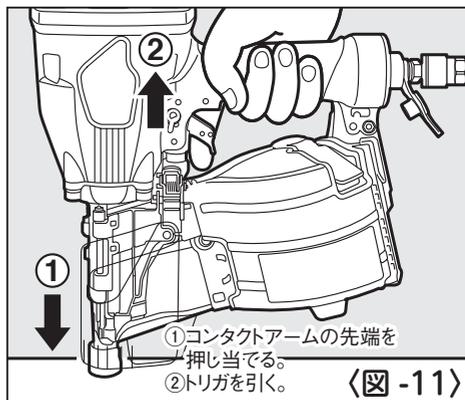
【打ち方】 CN-890K-DS の場合

本機は DS バルブ（ダブルシーケンシャルバルブ）を採用しています。DS バルブは、単発打ち専用の構造となっておりますので、狙った場所に一発一発確実に打つことができます。

※ DS 仕様への組み替えは、お買い求めの販売店を通じて、マックスエンジニアリング & サービスファクトリー様にご相談ください。

手順

- ① トリガロックダイヤルを押し回し、UNLOCK（アンロック）の位置にセットします。
- ② ネイルを打とうとする箇所にコンタクトアームの先端をしっかりと押し当ててからトリガを引いてください。
- ③ トリガを引いたままで、再度コンタクトアームを対象物に当ててもネイルは発射されませんので、トリガから指をいったんはなしてから②の操作を繰り返し行ってください。 <図-11>



警告

- 本体の射出口付近（アームカバーなど）に手を添えない。
ネイルを打ち損じた場合、思いがけない事故につながります。

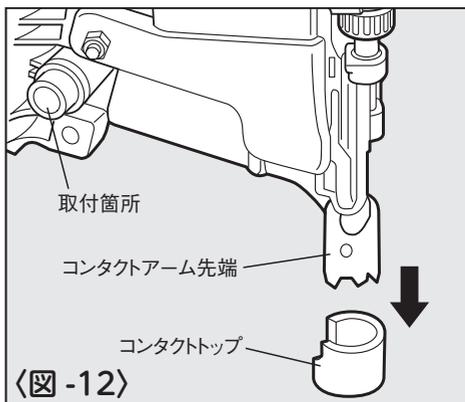
【コンタクトトップの使い方】

⚠ 警告

- コンタクトトップ着脱の際は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

仕上げ材等を打つ際、対象部材に傷をつける恐れがある時は、付属品のコンタクトトップをコンタクトアームの先端に取り付けてください。

- ※コンタクトトップは出荷時マガジン部に
取り付けてあります。 (図-12)

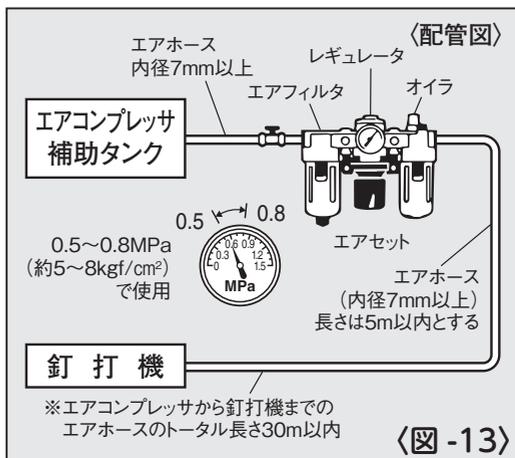


6 配管についての注意

⚠ 警告

- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

- ①動力源は必ずエアコンプレッサをお使いください。高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）は絶対に使わないでください。
- ②エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。
- ③エアホースは内径7mm以上、長さ30m以内で使用してください。エアセット使用時は、エアセットから釘打機までのエアホースを内径7mm以上、長さ5m以内で使用してください。 (図-13)



7 エアホースの接続

警告

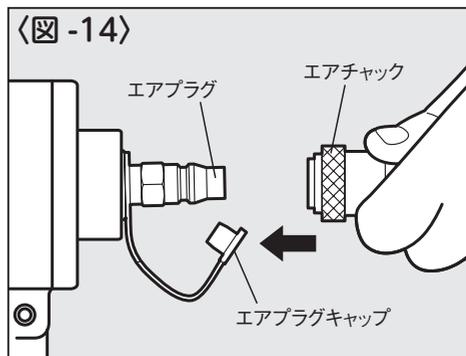
●エアホース接続の時は必ず厳守する。

エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

1. トリガをロックする。
2. コンタクトアームに触れない。
3. コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
4. 射出口を人体に向けない。

手順

- ①トリガをロックします。
- ②エアプラグからエアプラグキャップをはずします。
- ③エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。 〈図 -14〉



警告

●作業中断時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

8

アジャスタの調整と打込状態の確認

本機には打込み深さを調整できるアジャスタが装備されています。打込みすぎは極端に保持力が低下しますので作業の際には打込状態を確認して、アジャスタで深さを調整してください。

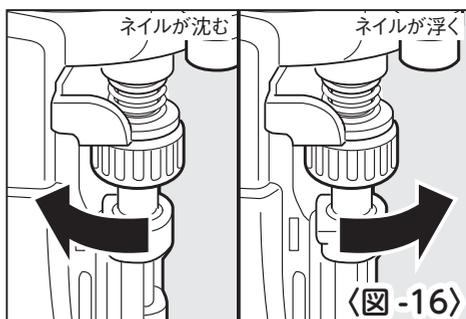
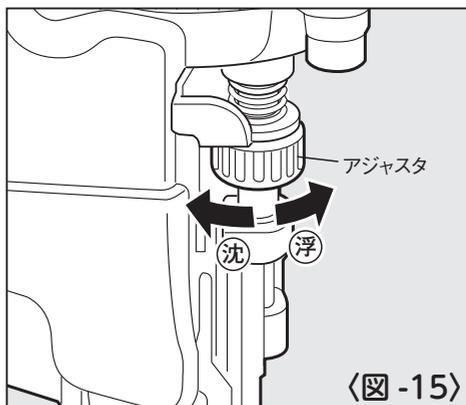
〈図 -15〉

警告

●調整の時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

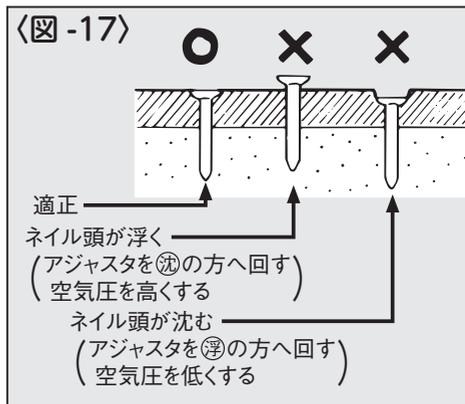
手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②ネイルを装填します。
- ③エアコンプレッサの圧力を 0.6MPa (約 6kgf/cm²) にセットします。
- ④本機にエアホースを接続し、トリガロックダイヤルを UNLOCK (アンロック) にセットします。
- ⑤アジャスタの調整 (ネイルの打込調整) の前に一度テスト打ちしてください。打込みたい深さを確認します。
- ⑥トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ⑦ネイルを取り出します。
- ⑧アジャスタを回し調整します。〈図 -16〉
※アジャスタを 1 回転させると約 1.2mm 上下します。
- ⑨本機にネイルを装填します。



- ⑩エアホースを接続し、トリガロックダイヤルをUNLOCK（アンロック）にセットしてさらにテスト打ちをして適正かどうか確認してください。 〈図-17〉

- ⑪適正であれば調整完了です。不適正であれば以上の手順をくり返してください。
※アジャスタ目盛りの位置を覚えておくと次に使用するときに便利です。



- ⑫適正状態が得られない場合はエアコンプレッサの空気圧を調整してください。

⚠ 警告

- 0.8MPa (約 8kgf/cm²) を超えた圧力では絶対に使用しない。

⚠ 注意

- 圧力調整が不適切な場合、釘浮きや打ち込みすぎ等、適正な打込み状態にならない事があります。
- 打込対象物が硬い場合や使用空気圧が低いと適正な打込み状態を得られない場合（釘浮き等）があります。

9 ネイルづまりの直し方

⚠ 警告

- ネイルづまりを直す時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

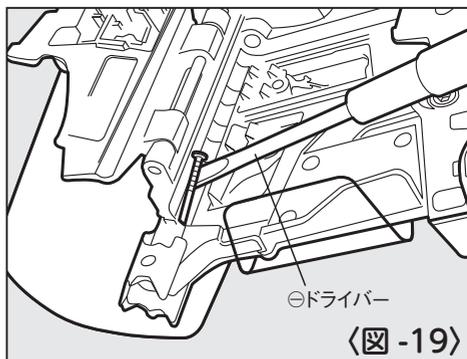
手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②ネイルをマガジン内より抜き取ります。
- ③ドアを開き、射出口より細い鉄棒を入れ、ハンマーでたたきます。 〈図-18〉



- ④ノーズ内部につまったネイルを細い鉄棒や⊖ドライバーで取り除きます。 〈図-19〉

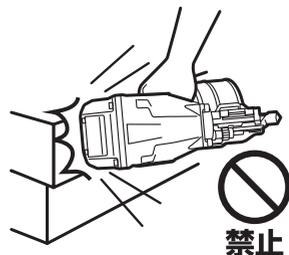
- ⑤ネイルを送り爪に再度確実にセットして、ドアを閉じます。



10 性能を維持するために

①本機を大切に使う

落したり、ぶつかけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつかけたり、叩いたりしないでください。



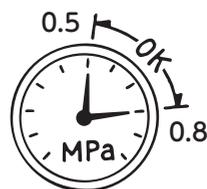
②空打ちをしない

ネイルを装填しないで空打ちをくり返し行くと、破損したり、各部の耐久性が低下しますのでさけてください。



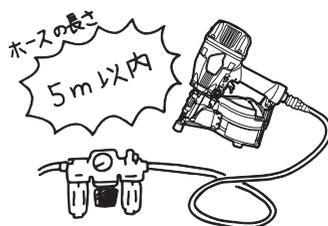
③エア圧力を調整し、使用する

打込対象物に合わせ必ず空気圧を調整し、使用してください。対象物に対して空気圧が高すぎるまま使用しますと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。



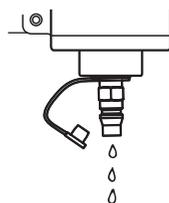
④エアセットを使用する

エアセットを使わないとエアコンプレッサ内の水分やゴミが本機内に入り、錆や摩耗が発生して作動不良の原因になります。なお、エアセットから本機までのエアホースは長すぎると圧力低下となりますので5m以内にしてください。



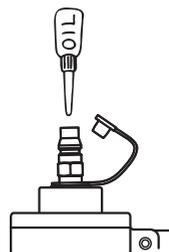
⑤本機の水抜きをする

作業終了時エアプラグを下に向け十分水抜きしてください。



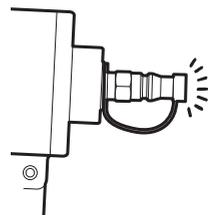
⑥指定オイルを注油する

オイルはタービン油 2 種 ISO VG32 (JIS K 2213) を必ずお使いください。使用前使用後にエアプラグの口より約 5 滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。



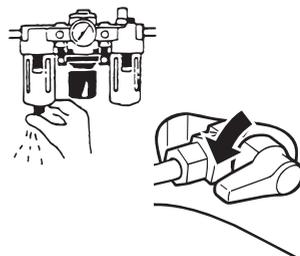
⑦エアプラグキャップの使用法

本機を使用しないときには、機械内部にゴミなど入ると故障の原因となりますので、本機を使用しないときはエアプラグにキャップを装着してください。



⑧エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。



⑨定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。定期点検は、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い上げの販売店を通じてお申し付けください。

11 空打ち時の確認事項

作業中に本機は作動するがネイルが実際に打ち込まれない場合には、下記の事を点検してください。

①ネイルが送り爪にきちんとセットされているか。

②送り爪が作動しているかどうか。

※作動していない場合は、エアプラグから約5滴注油してください。

③ネイルがマガジン内であらまわっていないか。

④ネイルサポートの高さがネイルの長さに合わせて適正に調整されているか。

上記①②③④を確認しても空打ちが直らない場合には、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お問い合わせの販売店を通じて点検・修理に出してください。

12 保証、アフターサービスについて

【保証について】

●本機には保証書（外箱に添付）がついています。

●所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。

「お客様登録カード」にて登録手続きしていただいたお客様に限り、保証期間が2年間となります。

【アフターサービスについて】

●本機の調子が悪いときは、すぐに使用を中止してください。修理の際は、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い上げの販売店を通じてお申し付けください。

●保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。



本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町 6-6 TEL(03)3669-8121(代)

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541(代)
新潟支店	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL(03)3669-8118(代)
群馬営業所	〒370-0031	高崎市上大類町 4 1 2	TEL(027)353-7075(代)
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀 8 1 5 5	TEL(0263)26-4377(代)
関東営業所	〒300-0811	土浦市上高津 9 1 5 - 1	TEL(029)835-7322(代)
千葉営業所	〒284-0001	四街道市大日 1 8 7 0 - 1	TEL(043)422-7400(代)
名古屋支店	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052)918-8619(代)
静岡営業所	〒420-0067	静岡市葵区幸町 2 9 - 1	TEL(054)205-3535(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1 - 3 - 18	TEL(06)6444-2035(代)
京都支店	〒612-8414	京都市伏見区竹田段川原町 195	TEL(075)645-5061(代)
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町 6 - 2 - 4	TEL(078)367-1580(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音 7 - 1 1 - 24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1 - 5 - 1	TEL(092)411-5416(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町 3 - 24	TEL(099)269-5347(代)

販売関係会社

埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町 3 - 4 2 1	TEL(048)651-5341(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘 7 - 6	TEL(045)364-5661(代)
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町 5 - 1 7 - 1 9	TEL(042)528-3051(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸 2 - 1 5	TEL(076)240-1873(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市北区野田 3 - 2 3 - 2 8	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町 7 6 1 - 3	TEL(087)866-5599(代)

マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町 4 1 2	TEL(027)350-7820(代)
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町 3 - 4 2 1	TEL(048)667-6448(代)
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
名古屋サービスステーション	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052)918-8624(代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1 - 3 - 18	TEL(06)6446-0815(代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音 7 - 1 1 - 24	TEL(082)291-5670(代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1 - 5 - 1	TEL(092)451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料)0120-228-358

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

